

## 令和元年度第3回浦安市総合計画審議会議事録

1 開催日時 令和元年8月8日(木) 午後3時00分～午後5時00分

2 開催場所 浦安市役所4階S5・S6会議室

3 出席者

(委員)

坂本森男会長、男全寛子委員、樂々道夫委員、五月女香代子委員、  
相原勇二委員、大川三敏委員、大塚真理子、宇田川勝久委員、加藤升委員、  
小林澄子委員、齊藤榮一委員、高橋洋介委員、福元明彦委員、窪園博俊委員、  
小瀧修委員、近藤さなえ委員、本庄篤子委員

(事務局)

内田市長、小檜山企画部長、山崎企画部次長、土久企画政策課主幹、  
春田企画政策課課長補佐、峯崎企画政策課副主幹、竹森企画政策課副主幹、  
岡本、戸邊、武内、石坂、野村、大木、広瀬

4 議題

(1) 基本計画素案について

- ・第3章(うらやすポリシーミックス)
- ・第5章 基本目標3(安全・安心で快適なまちへ)  
基本目標4(多様な機能と交流が生み出す魅力あふれるまちへ)
- ・第6章(計画実現のために)

5 議事の概要

(1) うらやすポリシーミックスについて

市民生活に直結する施策や都市構造の変化に対応する施策、浦安の魅力を高めるための施策について事務局から説明があり、その後質疑がなされた。

(2) 基本目標について

基本目標3においては防災や環境等で展開する施策について、基本目標4においては観光や産業等で展開する施策について事務局から説明があり、その後質疑がなされた。

(3) 計画実現のためにについて

基本計画を実現するために、行財政運営やまちづくりに係る施策等について事務局から説明があり、その後質疑がなされた。

(4) その他

次回の会議は、令和元年10月17日に行う。

6 会議経過

委員： これまでに市内で発生した災害の中で最も被害が大きかったのは、東日本大震災による液状化であると感じています。P52の「(2) 震災に強い都市基盤の整備」において、液状化対策は主要な幹線道路を対象としていましたが、水道や電気等

のライフラインの液状化対策も極めて重要な取り組みではないでしょうか。

- 事務局： 電気やガスについては、液状化対策が概ね完了していると事業者からは聞いています。水道については、まだ一部残っているので、これからも働きかけていきたいと考えています。また、道路についても、幹線道路はまだ全て終わっているわけではないので、これからの10年間の中で、できるだけ早期に実施していきたいと、考えています。
- 委員： 液状化対策について、これまでの取り組みの結果、対策は十分に講じられたと考えて良いのでしょうか。今後、想像以上の地震が発生した時のために、さらに液状化対策を推進していくことをもっと強く打ち出すべきではないでしょうか。
- 市長： 東日本大震災の教訓を踏まえ、液状化対策については市として重点的に取り組んでいます。計画への記載の仕方は再度検討させていただきたいと思いますが、現在、水道・ガス・電気などの事業者から、できる限りの対策は行っていると伺っており、また、幹線道路が通行できなくなったという教訓を踏まえて、幹線道路の液状化対策に重点的に取り組むという姿勢を示させていただいています。委員が言われたように、次、同じような震災が起こった場合、どうするのかというのは我々も考えており、想像以上の震災が起こった際に絶対被害が発生しないと言い切ることはできませんが、東日本大震災と同程度の震災であれば、前回より被害は軽減すると理解していますので、ご理解いただければと思います。
- 会長： 埋立地は埋め立て後300年位経過しないと液状化の危険性はなくなると言われています。もし、液状化を止めるには、一度皆さんが立ち退いて、浦安市全部をサンドコンパクションや深層混合工法によって地盤改良するという対策をしなければなりません。また、液状化が発生した場合、経済的な被害は起こるものの、人的な被害は起こりにくいことを勘案すると、現時点では、ライフラインを対象とした液状化対策に重点的に取り組むことが望ましいのではないのでしょうか。
- 委員： P13の「④地域コミュニティの再構築」のうち、「自主防災組織の強化」の中に掲げられている「地域水防団の設置」と記載している意図は何でしょうか。
- 市長： 現在、浦安市の水防団の役割は消防団にお願いしていますが、実際に高潮被害が起こった際などは、自治会の自主防災組織に対応していただくようなこともあると考えられます。具体的に水防をどのように取り組んでいくのかについては今後検討していきますが、地域の中での水防のあり方というのを考えてもらうために記載させていただきました。
- 委員： 自主防災組織の構成員について、平日地元にいるのは高齢者や子ども達などですが、休日は若い人もいますので、組織を構成する時は、日によって構成員が異なることを踏まえる必要があるのではないのでしょうか。
- 委員： 災害時、高齢者には紙おむつ等の備品が必要になるため、防災用品に関する補助金を交付する際に高齢者向けの団体に対する交付も検討していただきたいです。併せて、災害時の備えの一環として、高齢者向けの医薬品を取り扱っている民間事業者との連携も検討していただきたいです。
- 委員： P70の「(1) 誰にもやさしい公共交通網の充実」を実現するため、コミュニティバスがより様々な地域を巡回するルートの検討に取り組んでほしいと思います。
- 事務局： ポリシーミックスの中のP13に「地縁団体の活性化」とありますが、災害時は自治会、老人クラブ、地縁団体など、皆さんで助け合っていかなければならないといけないということを考えると、新しい枠組みで、だれもが、また、どのような組織でも参加できるような仕組みを検討していく必要があると考えられるため、記載させていただいています。
- また、補助金については、現在は自主防災組織を対象にした補助金制度を想定していますが、補助金制度の枠組みも、こういった新しい組織づくり、仕組みづ

くりの中で再編していく必要があるのではと考えています。

交通網のご意見については、「おさんぽバス」を現在、3路線、運行させていただいておりますが、運行にあたってはアンケート調査を実施するとともに、事業性なども検討したうえで、ルートを決定しています。今後も高齢化率や利便性などのバランスを見ながら検討するものと考えています。

委員：本市には、総合体育館、硬式野球場、陸上競技場など素晴らしい施設があるので、トップスポーツチームとの連携を通してスポーツの交流会などを開催していければ良いと思います。

委員：eスポーツについては、高校生の全国大会が浦安であるので、この機会をとらえ、市としてもこれから浦安を発信の地としてeスポーツを育てていただければと思います。

委員：P15の「④スポーツ施設の再配備」のうち、「陸上競技場のスタジアム化」や「学校施設の地域グラウンド化」は、いつまでに実施する予定なのでしょう。

市長：財政的な理由もあり、いつまでにとお答えするのは困難ですが、民間の活力も活かしながら、ネーミングライツや改修などについても検討したうえで、取り組んでいきたいと考えております。

委員：P12・13の「③交通結節点である駅周辺の再整備」について、現状の安全性・利便性を踏まえると、「浦安駅前バスロータリーの整備」を最優先で実施すべきではないでしょうか。「浦安駅前のバスロータリーの整備」は、10年後の到達点をどこに設定しているのですか。

市長：浦安駅前の整備については喫緊の課題であると認識しています。地権者の問題もあるので具体的に何が到達点かということは、申し上げることはできませんが、この10年の中で整備に取り組むための筋道をつけていくことが大切であると思っています。

委員：P13の「④地域コミュニティの再構築」のうち、「地域における居場所づくり」の中に掲げられている「自治会の法人化への取り組みを支援する」はどのような意図があるのでしょうか。

市長：自治会の法人化についてですが、現在、自治会は法人格がないため、行政の財産である自治会集会所を自治会がどのような根拠で使用しているかが不明確になっています。また、自治会の所有する車は自治会長の名義になっていることから、例えば、その車が盗まれて事故を起こして犯人がわからないと、自治会長に訴訟リスクが行ってしまう可能性があります。このようなことから、自治会が法人格を持つことで、自治会集会所の使用について、市と契約関係を結ぶことができるのと同時に、自治会長の負担やリスク軽減にもつながると考えています。

委員：各自治会を通じ、市民へのハザードマップの周知をより積極的に実施するなど、自治会を通じて防災に対する市民の意識を高めていく必要があると思います。

委員：ごみの分別収集をもっと強化すべきであると思います。

委員：予算の優先順位を明確にした上で、財政運営に取り組んでほしいです。

委員：P12の「②集合住宅の建て替え支援」について、現時点で実際に建て替えを検討している集合住宅は多くありません。実際の建て替えは、所有者がディベロッパーに既存の集合住宅を売却し、ディベロッパーが建て替えを行い、従前の所有者のうち希望者が建て替えられた住戸を購入する方式が現実的と考えられます。

委員：新浦安駅北口のバスベイの設置と歩行空間の拡幅について、できれば歩行者デッキにしてもらえれば通行しやすくなると思っています。また、新浦安駅前では朝夕の道路混雑時にトラックの通行を抑制することはできないでしょうか。

市長：新浦安駅前のバスベイについては県やJRとの関係もありますが、バスが縁石により近づけるような対策をするなど、混雑への対応はしていきたいと思っています。

委員：以前、ある地域で、新しくできたマンションの管理組合が既存の自治会への加

入を申し出たところ、その自治会から加入を拒まれた事例があります。自治会への加入を希望する市民が、円滑に自治会へ加入できるようにする必要があると思います。

委員： ICT教育の推進をするのは良いが、単にICT機器の充実にとどまらずに、民間事業者やボランティアを活用しながら、情報教育の推進に取り組んでほしいです。また、子どもの健全育成を図るためには、家庭教育の充実に取り組むことも重要であると思います。

市長： 単にICT機器を配備するだけで十分とは考えていません。その機器の基本となるOSや言語のことを理解できるようにしなければならないと思っています。また、それを学校の先生だけをお願いすることは難しいと思うので、民間等にお願いしながら実施していくことも考えています。

委員： P14の「(3) 浦安の魅力を高めるための施策」について、市外に対して浦安のどのような魅力を伝えたいのかを明確にすべきであると思います。

市長： 浦安に多くのポテンシャルがあるからこそ発信する魅力を絞り切れないのではないかと感じています。ただ、魅力的なまちづくりをするためにも、発信する魅力を整理して施策を検討していきたいと考えています。

委員： 防災・防犯は地域で行っていくものと考えていますが、防犯カメラの設置や街灯の適正配置など、インフラ面で行政にはサポートしていただきたいと思います。

委員： 最近、ネット犯罪やフィッシングなどが増えていると思うので、それに対する相談についての文言を入れていただくと良いと思います。

委員： 自治会集会所や老人クラブ会館が有効に活用されているのか疑問に感じています。新たに地域包括センターを作らなくても、そのような施設を有効活用すれば十分ではないでしょうか。

市長： P11で「地域包括支援センターの自治会単位でのサテライト設置」とあるように、地域包括支援センターが曜日によって自治会集会所や老人クラブ会館などを活用して地域に出ていくような仕組みを作りたいと考えています。

委員： P52の「(2) 震災に強い都市基盤の整備」について、東日本大震災の時にライフラインの復旧が遅れたことによって亡くなる方が出ることがありました。災害時における水道・電気等の安定供給に関する記述を加えてほしいと思います。

委員： 治水や都市計画道路等に関する事で、10年ほど前から商工会議所として県に対して要望を出していますが、要望に関する事業は進んでいません。市としても県に対して働きかけて欲しいと思います。

委員： P64の「(1) 地球温暖化対策の推進」について、例えば「水素エネルギーの活用」など新たな取り組みも盛り込んだ方がよいのではないのでしょうか。

委員： P77の「(1) 時代に対応した地域産業の振興」の中で、工業ゾーンに関する内容をもっと充実させた方がよいのではないのでしょうか。また、P77の「(2) 産業を支える人材の育成・確保」について、市内で新たに起業・創業した方が納税者として市の財政を支えていくような環境づくりを推進してほしいと思います。

委員： 現在の朝夕のラッシュ時における浦安駅・新浦安駅の混雑や災害時の対応を考慮した場合、市の人口はこれ以上増えなくてもよいのではないのでしょうか。人口増加とこれによって懸念される都市問題とのバランスを勘案したまちづくりを進めてほしいです。

委員： 日銀の金融広報委員会が出している金融教育用のデータや資料が非常に充実しているので、市民の皆様にもご紹介していただきたいと思います。

委員： 現在、浦安市の財政運営は余裕がありますが、今後は国からの補助が減っていくため、余裕が少なくなっていくと考えた方がよいと思います。計画には総花的にいろいろなものを盛り込んでいますけれども、向こう数年間ぐらいのうちに取捨選択しないといけない局面が来るかと思っています。

- 市長： 浦安市は交付税の不交付団体であるため、国が公共サービスの無償化を実施しても国からの補助は受けられない状況にあります。しかし、財政が厳しくなっている現状を改善するためにも、これからも財政の合理化に努めてまいります。
- 委員： 今後、アーバンリゾートゾーンへの来訪者に、それ以外の地域へと足を運んでもらえるようにすれば浦安市のことをもっと知ってもらえるのではないかと思います。
- 委員： P15・16の「②河川海岸の護岸整備の推進」のうち、「猫実川の二層河川化」とはどのような内容でしょうか。また、ビーナスプラザの移転先は、具体的にどのような場所を想定しているのでしょうか。
- 市長： 猫実川については、西友周辺は二層河川化をしているので、それを延伸し、地域の人々により愛される空間にしていければと考えています。  
ビーナスプラザの移転は、移転場所は決まっていませんけれども、例えば今後、学校統合した場合などには、その跡地にできればと思っています。
- 委員： 婦人の会も地域のために活動していますが、自治会や老人クラブのような集会所を持っていないので、自治会や老人クラブと連携して婦人の会も集会所を使えば良いと思います。
- 委員： 将来の財政状況を踏まえると、民間活力の導入や地域の活力、高齢者の活躍などを前面に打ち出したほうが良いと思います。また、既存施設の運営は市役所や会社によるものが多い現状にあります。効率的な運営の観点から、今後、運営主体の見直しに取り組んだ方がよいと思います。
- 委員： 国際会議の誘致や国際音楽祭の開催などにより、浦安の魅力をもっと市外へ発信すべきであると思います。
- 会長： 今後、次の3点について事務局に検討してもらいたいと思います。1点目は、成果指標について、基準値から上げるか下げるかという示し方をしていますが、具体的な目標値を設定することが望ましいと思います。指標は計画を進行管理するためのものであり、深く検討する必要があることから、計画に記載する段階ではないと考えられるので、パブリックコメントに公表する計画案には掲載せずに、計画への位置付けや取り扱いを整理していただきたいと思います。  
2点目は、財政の見通しについて、あくまで現時点での仮定値と位置付けた上で参考資料のような形で計画に記載してもらいたいと思います。  
3点目は、今後の財政運営について、浦安市は交付税の不交付団体ですが、観光客が多く、インフラや消防などの需要があるので、例えば法定外目的税など新たな税収の確保についても触れてもらいたいと思います。

以上